



昭和2年7月7日創立

世田谷区立東大原小学校

# 同窓会報

平成27年度 第2号  
(平成28年2月発行)

発行所  
世田谷区大原1-4-6  
東大原小学校同窓会

発行人  
野地勝彰

## 一七年度の終わりに当つて

同窓会長 野地勝彰(二四回生)

今年度もこの三月で終わります。同窓会の活動も卒業生への記念品贈呈を残すだけで予定通りすべての行事を終了することが出来ました。会員皆様のご協力に感謝申し上げます。

四月からは守山小学校と統合し、下北沢小学校がいよいよスタートします。今年度は統合に向けての準備と関連する沢山の課題に取り組んで来了一年でした。次回総会の日程、閉校行事の企画とそれへの参加など学校初めPTAやおやじの会などと連携を密にして進めて参りました。これらもすべての日程と内容が決まりました。同窓会関係については下段のポスターをご覧ください。

最大の課題は統合後の同窓会の在り方にについてでした。新校への協力継続については昨年四月の総会で決定されていますが、新校への貢献に最もふさわしい体制を各方面からご意見をいただき、理事会、評議員会で検討を重ねた結果、平成二九年四月から「下北沢小学校同窓会」として活動することにし、次回総会に提案することに致しました。検討内容と経過については二ページに記載しましたのでご一読下さい。

下北沢小学校は新設校ではありません。第三荏原尋常小学校に始まる九〇年近い歴史に支えられた学校です。第三荏原から東大原に名前が変わり、下北沢に再び変わることになろうとも私達の母校であることに変わりありません。

会員の皆様には今までと同じく新校を愛していただき引き続きのご協力をお願いする次第です。



## 東大原小学校閉校記念 さようなら 東大原小学校の会

平成28年4月10日(日) 10:00~15:00

会場: 世田谷区立東大原小学校

東大原小学校は、平成28年3月に閉校となり、跡地に新しい下北沢小学校の建設が始まります。

思い出を振り返り、思い出を残そう！



取り壊されるまえの学校の教室を使っての同期会やクラス会を開催しませんか？



教室や廊下の壁をキャンバスにして、絵を描いてみませんか？

○製作指導の講師もおられます。○自由に描くことも出来ます。○素材は用意されます。

主催: さようなら東大原小学校の会 後援: 世田谷区教育委員会  
協力: いせひでこ、TSUTOMU NAGAI  
協賛: ベンてる株式会社、キャノンマーケティングジャパン株式会社

参加はご自由に！【参加費は無料です】  
尚、教室を利用しての同期会やクラス会を開催される方は、同窓会事務局までご連絡ください。



東大原小学校同窓会  
事務局連絡先  
FAX03-5454-5356  
Mail dosokai@higashiohara.jp

## 東大原小学校卒業生の皆様へ

### 東大原小学校の同窓会総会が開催されます

日時: 平成28年3月26日(土)

総会 2:30pm ~ 3:30pm

懇親会 4:00pm ~ 5:00pm

場所: 東大原小学校 体育館



東大原小学校は、4月より守山小学校と統合し「下北沢小学校」となります。今回は、取り壊し前の東大原小学校での最後の同窓会総会となります。

懇親会(会費1,000円)は、おやじの会、PTAと一緒に楽しく行いますので是非ご参加ください。

東大原小学校の卒業生の方々は、皆様が同窓会会員です。  
お誘いあわせの上、奮ってご参加下さい。



東大原小学校同窓会

連絡先 〒155-0031  
世田谷区北沢2-35-9 小清水ビル5F  
東大原小学校同窓会事務局  
FAX03-5454-5356

## 一 これからの同窓会について

同窓会長 野地勝彰（二四回生）

三校統合後の同窓会の在り方については一年以上にわたつて検討を続けて来ました。可能ななかぎり多くの方の意見を伺うべく、総会、評議員会、理事会で検討し、会報では意見募集を行い、統合校の前例を調べ、他校同窓会と話し合い、第三荏原を卒業した会員から現六年生まで多くの方の見解を得ることが出来ました。

それらを総合的に検討した結果、一ページ記載の結論を得たものです。

### 三校とも第三荏原がルーツ

昭和二年に第三荏原としてスタート後、昭和七年に守山が、昭和一二年に北沢が分離設立され、昭和一六年に第三荏原から東大原へ名前が変わつて来たことを思うと、今まで回数の統合は元に戻つたわけで、名前の変更はすく、設立八九年と考へるべきでしよう。

### 下北沢小学校卒業生への対応

平成二九年三月に一期生が誕生します。卒業生にどう対応するのかが今後の名前とともに大きな検討課題でした。保護者の方達からは、どこにも属さないことのないよう何らかの組織的対応をして欲しいとの希望がありました。歴史的に考えればこれから生業も第三荏原以来の私達同窓生の仲間であるはずです。

### いろいろな見解

同窓会のこれからの名前について前述のように多くの見解が寄せられましたが主だったよ

ものを左記します。

☆ 下北沢小学校同窓会にして歴史を語り継いで欲しい

☆ 下北沢小学校連合同窓会に  
荏原から新卒業生までを会員に

☆ 東大原の名前は残して欲しい  
☆ 東大原同窓会のまま継続

☆ 同窓会の名前はやめて新しい名前に  
下北沢小学校同窓会の下に旧同窓会の支部を作る

☆ 名前はそのままで下北沢小学校同窓会として独立できるまでサポート

### 守山小学校と北沢小学校同窓会

守山小学校は同窓会の実質的な設立に向けての総会を開催する予定のようです。北沢小学校同窓会は統合が未定であることから現時点で今後の同窓会についての議論は下さいとのことです。

### 最後に結論

これらを総合的に検討して来ましたが評議員会、理事会としての結論は以下のとおりです。「新卒業生が誕生する平成二九年三月迄に私達を含む関係者がお手伝いして下北沢小学校同窓会を設立し、そこが東大原小学校平成二九年三月に一期生が誕生します。卒業生にどう対応するのかが今後の名前とともに大きな検討課題でした。保護者の方達は、どこにも属さないことのないよう何らかの組織的対応をして欲しいとの希望がありました。歴史的に考えればこれから生業も第三荏原以来の私達同窓生の仲間であるはずです。

## 二 母校の教育環境の向上

● 母校、PTA、おやじの会、商店街、アートでつなぐプロジェクトの会等とのコミュニケーションを図り、各種催しへ参加した。

● 同窓会文庫を充実すべく学校側の二字を聞き、本年度は七十五冊を寄贈した。

● 新しく同窓会員になる卒業生に対しても『三年日記』を贈るべく学校に届けた。● 六年生の社会科授業「学童疎開の記録」と平和を考えるに参加した。（後述）

## 三 同窓生や地域の親睦を図るための事業

● アートでつなぐプロジェクト東大原の会の「太鼓と芝居のたまつ子座」による『輪になれ』協賛（後述）

### ニュース『宮川英子前同窓会長勲章受章』

十一月三日の新聞を見た小清水同窓会副会長よりメールが、「宮川前会長が瑞宝双光章受賞を受章、勲章いたいたわよ！」にびっくり。これは、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、職務をはたしました。アートでつなぐプロジェクト東大原の会の「太鼓と芝居のたまつ子座」による『輪になれ』協賛（後述）

### 同窓会 母校の社会科授業に参加

臼井良雄（二七回生）

## 二七年度 同窓会の活動

一・会報の発行  
年二回の会報作成を実施

十月始め、片山校長から野地会長と私に連



にも取られないよう大事に大事に持つていて、腐らせてしまいました」の所は、悲しい出来事があつたんだということがよく分かりました。そして戦争は二度としてはならないと思いました。とて勉強になりました。』

## 『太鼓ライブ in 東大原』が開催されました

好天に恵まれた平成二七年十一月二十九日（日）に「アートでつなぐプロジェクト東大原」主催の「太鼓と芝居のたまつ子座」による『太鼓ライブ in 東大原』が母校の体育館で開催され、地域の児童（百一十五名）と多くの大人たち（百十六名）が来場しました。



この催しは東大原小学校同窓会も協賛して毎年秋に開催され今回が6回目となります。が、学校統合による新校舎建設のため現在の東大原小学校体育館での開催は今回が最後となります。そのため過去の催し物のなかで最も好評です。迫力のある「太鼓ライブ」が選ばれ、今回のサブテークライアントでもある「輪になれる」の通り、体操館の中央に舞台を設け、その周りを参加者が囲むと、太和太の太鼓器（太鼓、笛、鳴り物）の音色の違いも説明を交えて披露され、子どもたちも興味深く聞いていました。また、プログラムの終了後には参加者が実際に太鼓を叩けるおまけの時間もあり、子どもたちは勿論のこと大人達も多いに楽しんでいました。

地域の子どもから大人までの住民が一体となって楽しめるこの催しは来年以降も継続して開催する予定でありますので皆様のご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが「おやじの会」をはじめ会場設営にご協力を下さった方々に御礼申上げます。（漆畠）

## 閉校記念文集制作過程報告

平成二六年七月二七日の評議員会で、閉校に関する同窓会の企画が議論され、その時母校のオーラルヒストリーを残そうと云う話が出て、過去の会報や記念誌のなかの貴重な記憶記事を集め、また今回同窓生たちに呼びかけて各人の小学校時代の思い出などの原稿を書いてもらい、閉校記念文集を出そうと云う事が決まりました。そして十二月七日の評議員会では、宮川参与、大村参与、大岡理事、臼井理事の四名が編集委員に選出され、その後一年間に渡る原稿収集・募集・編集の作業が始まりました。

この活動は多くの同窓生の共感を呼び、二七年十一月までに一四九点の原稿（内既出寄稿頂いた方の中には昔の貴重な写真を寄贈いただいた方がいらっしゃいました。戦前の守山地区（今の代田六丁目）が鬱蒼とした森生々しい写真、そして戦争が終わって疎開かられ帰った児童たちの笑顔の写真には胸を打つた写真や、戦中、戦後の東大原小学校のまつ子座の工夫と協力を得て行なわれました。公演者たる太和太の太鼓器（太鼓、笛、鳴り物）の音色の違いも説明を交えて披露され、子どもたちも興味深く聞いていました。また、プログラムの終了後には参加者が実際に太鼓を叩けるおまけの時間もあり、子どもたちは勿論のこと大人達も多いに楽しんでいました。

閉校文集は前記のとおり、三月には出来上がり、総会で最初の配付、頒布をする予定ですが、写真については三年後の新校舎完成時のメモリアルスベースに展示保管させていただきます。以下その写真の一部を紹介いたします。（臼井）

『ますます充実した三四回生同期会』  
漆畠光一（三四回生）

平成二七年十二月五日（土）に昭和三六年三月卒業（第三四回生）による同期会「山紫会」が下北沢西口の「ガーデン・キッキン湘南俱楽部」にて開催されました。当日は、三組担任であった宮川英子先生と一組から四組の仲間十七名の総勢十八名が集まりました。今回の同期会は十一月には八十八歳になられた宮川先生の米寿祝いと平成二七年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章されたお祝いも兼ねて開かれました。五十五年前にタイムスリップして和気あいあいの会話が弾む中あつという間に予定時間が経過し、記念の集合写真を撮影後、次回の再会を約しての散会となりました。その後、まだ帰りたくない、また、飲み足り



ないメンバーが下北沢一番街にある三組の岸田君のお店「榮鮨」にて二次会となりました。



我々三四回生による同期会として四月に第一回を開催し今回が二回目となります。前回は種々の都合により参加者が少なかったのですが、今回は全四クラスからの参加者があり本当の意味での同期会となつたことを全員が喜んでいました。今日は女性の参加者が圧倒的に多く、初参加の方もクラスの枠を越えて楽しく過ごすことが出来ました。

宮川先生はとても八十八歳とは思えないほどお元気で、知識力、記憶力は全く衰えることなく、今でも新しいことに挑戦していらっしゃるといふことです。お店の方が先生の似顔絵を描いたバースデーケーキを作つて下さり、皆で先生にあやかろうと一口ずつ頂きました。我々も先生に負けないように元気に歳をとりたいとつくづく思つた一日でした。

## 叙勲を祝つてのメールの会

大竹英一（二七回生）

今年は秋の叙勲で、私達二七期生が入学した時から受け持つて頂いた宮川英子先生、当時は瀬戸先生とお呼びしていた恩師が瑞宝双

原小学校の先生になつて最初に受け持つたのがあなたの方でした。あなたの方もあなたのお母さん達も、忘れられません。特に御母さんが若い未熟だった私を今まで支えて下さったこと、私の青春でした」という言葉でした。

確かに当時の先生

は青春のただ中だったのでしょう。そのころ人生最初の恋心を先生に抱いた岡本は「あの頃自分にとつて瀬戸先生は神様だった。怖いけどあこがれの人、ところがある時、集められて今日から宮川と言う姓に変わりますと云われ、結婚したからと聞いて、大ショック、それまで自分がだけの先生と思っていたので、悲しかったです。」と告白、私大竹も「当時先生が教室の隅で泣いていたことがあった。聞けば川崎先生に叱られたとのこと、先生が可哀そうで川崎先生が憎らしかった」と語つてしましました。

女性陣の渡辺翠や麻田は「先生といえば涙刺と元気な声が素敵で、とてもいい匂いがした。紺色のキユロットスカートと白いサンバイザーがとても格好良かった。一番楽しい思い出は、先

行つたこと、夜行列車に行つたこと、夜行列車に行つたことは自分だけの先生と思つていたことです。」と語つてしましました。

写真は上列左から風間、張、平山、小宮山、菅沼、中列左から新居、谷田、小泉、平形、松本、鹿島田。前列左から森定、羽生、宮川先生、佐藤、益津、剣持です。

光章という勲章を頂き、急遽テーマを「叙勲を祝つての会」とし、「私が十九歳で東大が下北沢南口の「かつら」で開催しました。宮川先生は御元気で挨拶をなされ、中でも印象に残つたのが原小学校の先生に頂いた方のお母さん達も、忘れられません。特に御母さんが若い未熟だった私を今まで支えて下さったこと、私の青春でした」といふ言葉でした。

遠路関西方面より、瑞宝双光章受章をお祝いに今回十七人、今までにない多くの方に御集り頂いての開催でした。

宮川先生の米寿及び瑞宝双光章受章をお祝いに今回十七人、今までにない多くの方に御集り頂いての開催でした。

乗つて御母さんたちばかりか御父さん達まで何人もきたこと」と女らしい感性を語る。宴もたけなわの喧騒の中で私が思ったのはそんなのだから、私達も歳をとつたと云う事です。最後に岡本君の席上作成一句「木枯しを外に恩師とつつく鍋」

叙勲を祝つての英級会  
鹿島田 茂夫（二六回生）



## 何から書き出そうか悩むほど楽しかった クラス会の結果報告をします。

「無二の会」伊藤正敏（三十回生）

なんか従妹？兄弟？のような集まりのクラブ会、ちょっと無いんじゃないかな。いいねー。五十年ぶりに渋谷クロスタワーの出会い。河村と斎藤由紀子良く解ったよな。あとで聞いてなるほど……。

釈迦堂ラーメンはごめん。吉野にあきれられた。でも美味そうに食べて紫煙のひと時を満足そうにしていた。

一路武田神社に向かう。甲府南インターから三十分ほど、甲府駅裏側一キロ位の高台。皆初めての礼拝のようで、感動していた。

金武に会した。「早く来いよ」とのこと。一七号線で一宮御坂で河口湖に。ドライバー中村の提案で旧道を行き、御坂峠の絶景スポットに寄ることになる。生憎の天気で河口湖一望は出来なかつた。

河口湖、大石、流石薬局、金武が首を長くして待つていた。

ここからは金武の案内でも、まず与勇輝氏の作品を観賞する。どの作品も布で顔の表情を作り、重心をしつかりとさせ支えもなく、ただそこに置くだけで立つている。不思議な人形。そして河口湖。大石紹の店に案内してくれた。ここはあまり感動は無かつたが、僕は訪問記念に張り込んでネクタイを松本に選んでもらつた。

笑いの達人、俺達あれから六十年つてどこかな、綾小路きみまろの店に行つたが、弘瀬だけが何か買つっていた。時間も良し、五時少し前、金武の勧めの宿に投宿、ふむなかなかの宿だ。一風呂浴びて宴会だ。これがまた最高です。ビデオに撮つておきたいくらいの盛り上がり、素子の話しさなぜ

あれほど人を引き込むのか、只の馬鹿つ話なんだが、癌と云う大きなリスクを全く感じさせないのは何故だろう。告白タイムか？……様々だ。敢えて記録しないでおく。

カラオケ、思い思いのパフォーマンス、長姉タイブの曾我さんは唯々あきれるばかりで、思い切って楽しんでいた。ここでも素子ののりのりには付いて行けなかつた。疲れなければと心配するほどだ。でも部屋に戻つてからも、十二時ぐらいまで松本と素子は俺達の部屋で喋つていた。七十歳を感じない。子供のまま話している。

それにも金武の鼾は凄い。耳元に食用ガエルを飼つて居る様だ。そういう私も寝言でご迷惑をかけたようでごめんなさい。

風光る富士の湯宿の目覚めかなさて二日目。天気も少し味方してくれ、富士さんも八十%姿を見せてくれた。杉浦が後ろ髪を引かれる思いで朝食後、帰京、そのせいか、天気もいまいちの状態。

昨日の話しで金武の家に日ハムの大谷翔平のユニフォームが有るというので見に行き、ブルーベリーの果実畑を見る。一人で耕すには丁度良い広さ、六月には綺麗な花が咲くでしよう。

奥様に美味しいコーヒーをご馳走になる。

そんなわけで、スバルラインは雲の中、時間とガソリンの無駄！と已む無く中止、忍野八海に、まあこんな所さ。山中湖の先を御殿場、時之栖で地ビール他高級バイキング。河村曰く、そんなにうまいビールではないとの事。二時頃裾野インターから一路東京へ。素子時間が有れば羽田に送つてくれないかと言う。和歌山から来ているんだ。皆で送ることにする。別れ際に涙を流し、参つた、参つたまた南紀方面で企画する

と約束し機上の人となる。

下北沢で東大原小学校へ行く予定が、中村の運転でうつかり、師と木村の待つ下北沢「わたみ」に着けてしまった。

仕方ない、そのまま流れるように、今回の打ち上げ、師も木村もあたかも同行したかの様に楽しんでくれた。

次回は師も行けそุดとの事、他にも誰かいかも。今回の参加者は十一人。女は蘇我・斎藤・素子・松本、男は河村・吉野・弘瀬・杉浦・中村・金武・伊藤、本当にありがとう。またこんなに楽しいクラス会が出来るように、もう少し頑張ろう。淋しがり屋の幹事より

平成二七年五月吉日

## 追悼 参事山縣武夫様 十一月三十日ご逝去

山縣様は平成十年代の同窓会活動に率先してご尽力されました。毎年の同窓会総会では正面に掲示する横断幕を、ご立派な墨書で整えていました。最近はパソコンで用意していますが、当時はご自宅で前夜、心をこめて書いて当日持つてきて下さつたのです。毎年の総会当日は、誰よりも早く体育館に来て準備して下さつたのです。

また、現職時代は経営者としてご活躍されただけあって、いつも穏やかに笑顔でいらっしゃいましたが、同窓会の運営には大所高所に立つて適切なご助言をいただきました。

広いご自宅には立派なカラオケ設備を整えていらっしゃったので、有志の人達はお邪魔して奥様のお手料理をご馳走になりながら、カラオケを楽しませていただきました。

その後体調を崩されたとの事でみんな心配しておりました。奥様の手厚い看護を受けてのご闘病の日々でしたが、天寿を全うされてのご逝去、同窓会としてこれまでお世話になつた御札をこめて、心よりご冥福をお祈りいたします。（宮川）

## 同窓生の皆さまにお願い

本年の母校閉校を控え、同窓会は幾つかのプロジェクトを進めています。それぞれの成功が同窓生の皆さまご協力にかかる必要がありますので、いろいろあります。是非ご協力頂きたくお願いいたします。

### 一・さようなら東大原の会（四月十日） に御参集ください。

この会はPTAやおやじの会、校庭解放委員会、同窓会などが集まって、「さようなら東大原の会」を組織し、教育委員会の後援を勝ちとり、すでに四月からは世田谷区教育委員会の管理下からはずれている学校を使わせていただいて行うイベントです。

### 二・新校メモリアルスペースに展示する アルバム・写真等の提供のお願い

世田谷区教育委員会では新校に今まで十八年の東大原小学校の歴史を残すため、メモリアルスペースの設置を了解しています。（写真で）、同窓会活動の歴史資料などを残すつもりです。卒業アルバムについては、昨年より皆さまにお願いし、かなりの数が網羅されてきています。

但し、小学校設立当初の何年間と戦後の何年間は卒業アルバムがなく、また存在して居ても経費の関係からクラスごとのアルバムが配布

され、同学年全クラスの卒業アルバムがない期もあります。

同窓会ではアルバムがない期については各人が個人的に保管している小学校時代の写真をお借りして、欠番期のアルバムを手作りしております。左表の年度クラスのアルバム乃至は小学校での集合写真などをお持ちのかたは、複写させてください。連絡先は七頁末尾記載の同窓会連絡先へFAX乃至メールを頂けたら幸いです。（白井）

### 現時点で欠番号卒業記念アルバム

昭和3年	1回生 全組	昭和27年	25回生 全組
昭和4年	2回生 全組	昭和28年	26回生 全組
昭和5年	3回生 全組	昭和29年	27回生 1組、3組、4組
昭和6年	4回生 全組	昭和30年	28回生 1組、3組、4組
昭和7年	5回生 全組	昭和31年	29回生 3組
昭和8年	6回生 全組	昭和33年	31回生 1組、3組
昭和11年	9回生 全組	昭和41年	39回生
昭和17年	15回生 全組	昭和63年	61回生 全組
昭和18年	16回生 全組		
昭和20年	18回生 全組		
昭和21年	19回生 1組と2組		
昭和24年	22回生 全組		

### 編集後記

毎年総会が終わると忙しさから解放され、総会報告記事を中心に会報一号の作成にとりかかるが、今年は東大原最後の年ということもあり、メモリアルスペースの企画やメモリアル文集の企画、新校建設の公聴会への出席、守山小学校の閉校後の跡地利用公聴会への出席などで慌ただしく、記事の募集もはがどらず、苦しい思いを致しました。

継続することに意味があるという仲間の声に励まされ、役員達の文章でページを埋めています。クラス会のニコースなど、皆様方の積極的な投稿をお待ちしています。

### 同窓会への連絡、問い合わせ、 寄稿の送付、送金の方法について

現在の事務局の住所は左記のとおりです。  
恐れ入りますが、連絡は郵便かFAXまたはメールで御願い致します。

メールの場合は事務所のみならず会長乃至は理事数名に届きますので、迅速な対応が可能です。

郵便番号 一五五-〇〇三一  
世田谷区北沢二丁目三五・九  
小清水ビル5F  
東大原小学校同窓会事務局  
FAX 03-5454-5356  
Eメール dosokai@higashiohara.jp

本同窓会は政治・宗教・思想について  
中立を守ります。

